

**2012 年度 化学繊維技術改善研究委員会
技術グループ関係事業報告**

1. 第 51 回 ドルンビルン国際化繊会議調査

(予算総額:2,071,000/実績:2,154,888)

	給料手当	会議費	消耗品	調査資料費	旅費交通費	印刷費	雑費
予算	1,441,000	20,000	20,000	100,000	400,000	20,000	70,000
実績	1,473,846	—	—	229,017	398,445	—	53,580

2012 年 9 月 19 日から 21 日の 3 日間、オーストリア・ドルンビルンで開催された第 51 回ドルンビルン国際化繊会議の概況を調査し、報告書を纏めた。

2. 高機能化学繊維の技術開発・用途開発動向調査

(予算総額:4,766,000/実績:4,776,878)

	給料手当	会議費	消耗品	調査資料費	旅費交通費	講師謝金	印刷費	雑費
予算	3,456,300	20,000	20,000	300,000	300,000	400,000	20,000	70,000
実績	3,541,983	121,275	—	315,620	380,087	364,541	—	53,370

高機能化学繊維の国内外における技術開発動向及び産学・異業種分野との連携による技術開発・用途開発動向を調査した。本調査は、外部有識者委員 2 名が参加する調査 WG を設置して、文献調査、ヒアリング調査及び研究機関等からの情報収集（講演会形式）等として実施した。

3. 環境配慮型化学繊維製品・技術の啓発活動（環境展への出展）

(予算総額:21,647,000/実績:21,525,790)

	給料手当	会議費	消耗品	印刷費	外注費	出展費用	雑費
予算	15,987,200	50,000	20,000	20,000	3,500,000	2,000,000	70,000
実績	16,378,710	51,966	160,650	—	3,163,650	1,701,370	69,444

一般消費者や学生など幅広い層を対象として、環境配慮型化学繊維製品及び技術を紹介し、化学繊維についての理解を深めてもらうことを目的として、環境展（エコプロダクツ 2012）に出展した。同出展は日本化学繊維協会と共同で実施した。

以上